チャレンジ環境

12月は「地球温暖化防止月間」

地球温暖化防止に向けて官民の事業活動が盛り上がりろうとしている。政府は温室効果ガスの排出削減に向けて2014年3月をめどに「チャレンジ25キャンペーン」に代わる新しい国民運動を立ち上げる。12月の「地球温暖化防止月間」に当たり、環境省や自治体などがさまざまな事業を始めた。東京・有明の東京ビッグサイトでは12日から3日間、環境に関する展示会「エコプロダクツ2013」が開かれる。家電、日用品をはじめ、化学、紙などの素材、エネルギー、金融、環境先端技術やソリューションなどあらゆる分野のエコプロダクツ・サービス、環境技術が紹介される。

政府、国民運動を一新

低炭素な生活様式を奨励

エコドライブ普及

政府は13年11月に2020年度の温室効果ガス排出量削減目標について、05年度比3・8%減とする新たな目標を発表した。温室効果ガスを20年度までに1990年比25%削減する従来目標をゼロベースで見直すなどした結果だ。そこで90年比25%削減する中期目標の達成に向けて、10年に始まった国民運動「チャレンジ25キャンペーン」も一新することにした。

石原伸晃環境相は国連気候変動枠組み条約第19回締約国会議（COP19）における声明で「新たな国民運動を立ち上げ、さらなる低炭素なライフスタイルを奨励する」ことを示した。環境省によると、現在は国民運動の詳細を詰めている段階。削減率の3・8%を国民運動のタイトルに入れるかどうかについては未定だという。

地球温暖化防止の国民運動では、京都議定書の目標である基準年比6%減を達成するため、「チーム・マイナス6%」を愛称とするキャンペーンが05年に打ち出された。その後、チャレンジ25キャンペーンに生まれ変わっている。

環境省は環境負荷軽減に配慮した自動車の使用方針「エコドライブ」のさらなる普及促進を目的に、「エコドライバープロジェクト」を13年12月1日に立ち上げた。有識者による推進委員会を組織し、警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省の4省庁で組織する「エコドライブ普及連絡会」および関連団体と連携しながら、企業、団体の賛同を募る。そしてエコドライブを国民的なアクションにしていくことを目指す。エコドライブの実践が地球温暖化防止に寄与するだけではなく、燃費向上、交通事故削減、同乗者らの信頼向上などにつながることに着目した。

従来、政府としてはエコドライブ普及連絡会が提唱する「エコドライブ10のすすめ」などによって普及啓発を行ってきた。エコドライバープロジェクトでは、エコドライバー10のすすめに関心を持つためのファーストステップとして、まずは「自分の運転の燃費を知る」「自分の運転に対する周囲の評価を知る」ことを呼びかけ、エコドライブの実践につなげる。

11月22日から12月1日まで東京・有明で開催された展示会「第43回東京モーターショー2013」で、環境省ブースを出展してエコドライバープロジェクトの周知を図った。また、同省と日本自動車工業会は12月1日に同展示会でエコドライバープロジェクトのキックオフ・イベントを開いた。

12月1日に行われた「エコドライバープロジェクト」のキックオフ・イベント

個人・団体の功績表彰

国際貢献部門も3件に

同省は97年12月に京都市で開かれたCOP3を契機として、98年度から12月を地球温暖化防止月間と定めた。これを受けて国民、事業者、行政が一体となって、普及啓発事業をはじめとするさまざまな取り組みを実施している。

同省では98年度から毎年、12月に地球温暖化防止活動環境大臣表彰を行っている。地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人または団体に対し、その功績をたたえるものだ。

13年は12月4日に都内のホテルで13年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰の表彰式を行った。受賞者は個人4件、団体41件で合わせて45件。内訳は技術開発・製品化部門が9件、対策技術先進導入部門が5件、対策活動実践・普及部門が18件、環境教育活動部門が10件、そして2年連続で該当者がいなかった国際貢献部門が3件となった。全体で204件の応募があった。

石原環境相は表彰式で「受賞された取り組みは模範になる」と祝辞を述べた。

自治体においては北海道の「ほっかいどう・省エネ3Sキャンペーン『冬の陣』」や、秋田県の「冬の省エネチャレンジキャンペーン」、長野県の「冬の信州省エネ大作戦・2013」、愛媛県の「みんなで出かけましょうシェアキャンペーン（ウォームシェア）」、福岡県の「ふくおか省エネ・節電県民運動（検針票を見てみよう！キャンペーン）」などの行事が実施されている。

2013年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰

エコプロダクツ2013

東京ビッグサイトできょう開幕

エコプロダクツ2013は、環境に配慮した製品やサービスおよび社会や企業の先進的な取り組みを紹介する日本最大級の環境展示会で、12年に続いて15回目の開催となる。産業環境管理協会と日本経済新聞社が主催。入場料は無料（入場登録制）。

今年のテーマは〝今〟つくる　地球の「未来」〟。展示規模は702社・団体、1703小間。企業の経営者や購買・環境管理・商品開発、経営戦略、社会貢献部門関係者、自治体関係者、民間非営利団体（NPO）・非政府組織（NGO）関係者、市民グループ、生活者、環境学習を目的とした小中高生らさまざまな層から18万5000人（前回実績17万8501人）の来場を見込んでいる。

幅広い分野のエコプロダクツやサービスが展示される。出展分野はエネルギー、家電、照明、事務機器、情報通信機器、印刷、文具、事務用品、自動車、輸送用機器・関連機器、運輸、物流、建設、建材、住宅、住宅設備、容器・包装、エコマテリアル、流通・小売り、衣料、日用品、食品、飲料、外食、シェアリングサービス、安心・安全、健康など多岐にわたる。

エコプロダクツ2012の会場

見どころ

今回の見どころをいくつか紹介する。

「森林（もり）からはじまるエコライフ展2013」ゾーンは、地球温暖化防止や生物多様性保全に向けた、企業やNPOなどによる森づくりや木材利用、環境教育、都市山村交流などの多様な活動やサポート制度を紹介する。

「水でつながる森・川・海エリア」では、生物多様性の保全や水資源の維持、流域の生態系の保護などを、流域というひとつながりの考え方・流れを意識して、来場者に訴えかける展示、ワークショップなどを行う。

「スマート&グリーン新たなエネルギーが拓く日本の未来」では、太陽光、風力、地熱、バイオマスなど各再生可能エネルギーの最新技術を中心に、各地域で行われている実証プロジェクトの概要を展示とセミナーで紹介。次世代エネルギー普及・拡大がもたらす日本の未来と、その可能性を考える。

「ニッポン・エコビジネス」では、環境で存在感を高める、日本各地の施策や取り組みを紹介。自治体や各地の産業振興団体が出展して地域で活用する環境企業や自治体自体の環境活動について展示する。

「グリーンストアーズ」では、食品、雑貨、衣料品から化粧品まで、各社こだわりのオーガニック、エコ、フェアトレードアイテムを購入できる。

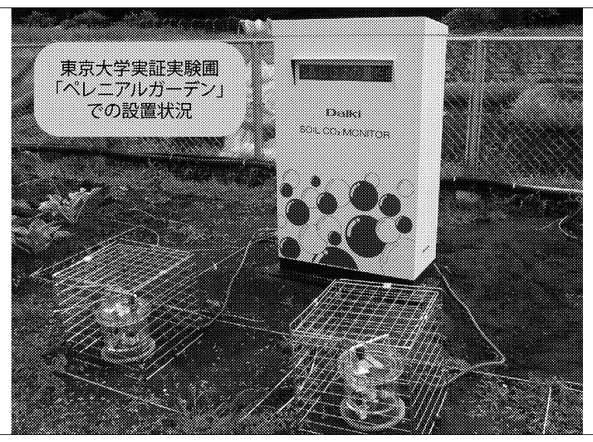
「エコごはんとスイーツ」では、オーガニック食材や国産の旬な素材を使用した、オリジナルエコ弁当、野菜ソムリエの具だくさんスープ、こだわりのオーガニックコーヒーなどを提供。弁当箱やマイカップとして繰り返し使用できる容器を使った「限定メニュー」も用意する。

「エコプロゴミゼロ大作戦」では、会場内で出るゴミを11種に分別し、回収・圧縮して再資源化する。また、家庭で眠っている衣類、不要になった携帯電話・小型家電、使用済みインクカートリッジ、オモチャ、文具などのプラスチック製品を会場で回収し、リユース、リサイクルを行う。

また、ハイブリッドカーや燃料電池自動車、電気自動車などに同乗して有明周辺を約3キロメートル走行する「エコカー乗車体験」を企画。エネルギーやエコビジネス、ソーシャルなど、専門家が六つのテーマで会場を案内する「会場内エコツアー」では、参加希望者を当日会場内ツアーカウンターで受け付ける。

このほか、主催者による「エコプロダクツ2013記念シンポジウム」を12日13時半―15時55分に東京ビッグサイト会議棟7階国際会議場で開催する。テーマは「『今』生み出す『未来』をつくる新しい風～世界に響く〝攻めの環境〟とは～」。環境問題に取り組む社会の動きを発信する。参加は無料（事前登録制）。

エコプロダクツ2012での「エコごはんとスイーツ」



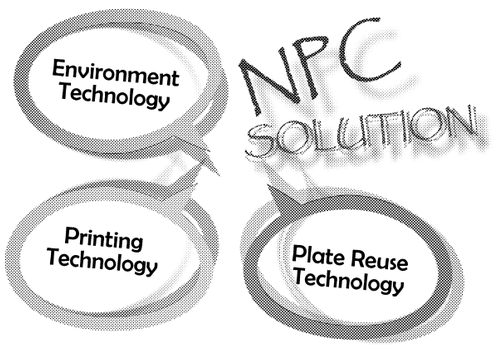
「CO_2計測ステーション」始動!

・土壌CO_2発生量の連続計測システム
・LAN接続によりインターネットを通じてモニター可能
・東京大学と「低炭素化社会実現プロジェクト」共同研究中

Web検索　CO2計測ステーション　検索

土と水を守る　Daiki SOIL & MOISTURE　土と水の環境測定機器メーカー　大起理化工業株式会社
〒365-0001　埼玉県鴻巣市赤城台212-8　URL：www.daiki.co.jp
TEL 048-568-2500 / FAX 048-568-2505　e-mail：mbox@daiki.co.jp

環境印刷で新たな印刷の価値を創造する
Minus Carbon Printing Systems　MCP マイナスカーボン・プリンティングシステムズ



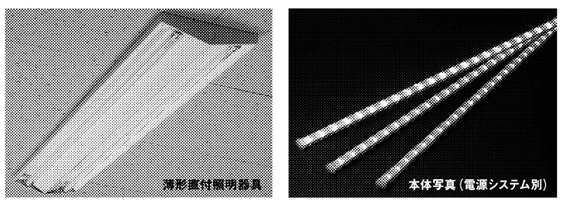
●エコプロダクツ2013 出展ブース番号:東4-005
●期間：12月12日(木)～14日(土)
●会場：東京ビッグサイト
●時間：10:00～18:00(最終日は17:00まで)
●資料請求・問合せ先：TEL:0475-44-2211

日本フォトケミカル株式会社　http://www.world-npc.com　日本フォトケミカル　検索

PRINCE

省エネでコンパクトな環境配慮型製品
Slim eco T5スリム蛍光灯&LED照明

高周波点灯専用T5ランプ採用　天井照明　省ライン®
高効率LED採用　棚下・間接照明　ディーライン



オフィス・店舗・工場・施設の省エネは照明器具から

プリンス電機株式会社
ISO9001・ISO14001・OHSAS18001 認証取得
http://www.prince-d.co.jp/
本社営業部　TEL.045(501)4722

Slim eco　スリムにすれば環境にやさしい　スリムエコ

daiwabo

不思議をカタチに。

ガラスや金属にも接着が可能。
miracle® fiber A　ポリオレフィン系異種接着繊維
約95℃の温度で溶融し、アルミ箔などの金属、ガラス及びセルロース繊維に対し優れた接着性を持ちます。
用途　医療用・食品包材、フィルター材料、建築資材等

もしもの時、備えがあれば安心。
miracle® fiber FG　ポリオレフィン系難燃繊維
ハロゲン系・リン系の難燃剤を使用しておらず、環境に優しく、接着性に優れた難燃繊維です。
■難燃試験
用途　エアフィルター、建築材料等

高高性が高く、幅広い温度で使用できるクッション性能。
miracle® fiber (CQ)V　ポリエステル/ポリオレフィン系熱接着性複合繊維
柔軟で曲げ回復性の大きい特殊ポリエステルを耐変型性・耐熱性に優れる特殊ポリオレフィンで被膜したクッション材用繊維。
■50%圧縮×8万回繰り返し後の繊維接着点
用途　クッション材
クッション材として使用される従来のウレタンフォームに比べ、(CQ)V不織布は、繊維構造物のため、通気性が非常に優れています。

繊維自身が自然に生分解し、環境を美しく保護。
miracle® fiber KK　生分解繊維
■生分解テスト（腐葉土中12ヶ月後）
石油及び植物由来の生分解性樹脂を組み合せたバインダー繊維。分解速度が速く、熱収縮が小さい特性があります。
用途　農業・園芸資材、土木資材、家庭用雑貨等

ミラクル®ファイバー シリーズ
利便性やその快適性で私たちを魅了してきた繊維は、暮らしの隅々まで活躍の場を拡げています。
燃焼時に発生する有毒ガスを抑えるポリオレフィンを使用するなど、
ダイワボウの技術が、様々なライフシーンをエコロジー環境へと変えていきます。

ダイワボウポリテック株式会社
TEL.06-6281-2414
http://www.daiwabo.co.jp/